表1　中国帰国者定着促進センター学習目標構造表（第四版）　達成目標のみ

中目標1「行動」 身近な生活行動場面に必要な基礎知識・基礎技能を身に付ける

※「タイプ」欄の特記は「この欄に示したタイプ以上で」の意。すなわち「Ⅱ」とあれば「Ⅱタイプ以上で目標とすることが可」の意。

ラベル	達成目標	ﾀｲﾌﾟ
変則対応	何かとがめられたり尋ねられたりしているようだが内容がわからないというときの対処ができる	

センター：センターでの学習生活に必要な知識を身に付け、必要な行動ができる

早退遅刻	欠席、早退、遅刻の届けができる	
日直	日直等の仕事が果たせる　①食券	
	②チョーク	
	③掃除の報告	
	④放課後の連絡を受ける（宿題をもらう等）	
	⑤宿題を提出する	
	⑥事務室から物を借りて/もらってくる	
	⑦機器等の故障等を訴える	
	⑧担任からのﾃﾚ連絡を受けてｸﾗｽに伝える	
設備・用具利用	①PC 開放	Ⅱ
	②図書室	
	③ｽﾎﾟｰﾂ用具・傘等を借りる	
規則	その他、センターの規則を守って行動できる	

交通・外出：交通機関等を利用して目的地に行くことができる

	達成目標	ﾀｲﾌﾟ
交通規則	徒歩や自転車での通行に関する交通ルールや注意事項を守って通行できる	
道聞き	①特定の施設や建物への行き方を知る（尋ねる）ことができる	
	②相手の答えから目的地への行き方がわかる	
電車	①駅構内や車内でのマナーを守って電車に乗ることができる	
	②2, 3 回行ったことのある駅なら自力で行ける	
	③-1〈初めて行く駅〉目的駅までの切符が買える	
	③-2〈初めて行く駅〉目的駅行きの電車が出るホームおよび車両を探して乗ることができる	
	③-3〈初めて行く駅〉乗った電車が正しいか、乗り過ごしていないかを確認して、目的の駅で降りることができる	
	④〈初めて行く駅〉（他社線への）通し切符を買って乗り換えて行くことができる	
	⑤切符を買い間違えたときに払い戻してもらえる	
	⑥券売機の故障に対処できる	
	⑦小銭の持ち合わせがないときに両替ができる	
	⑧改札機の故障（開かない/切符が出ない）に対処できる	
	⑨間違った電車に乗ってしまった場合や乗り過ごしてしまった場合の対処ができる	
	⑩構内や車中で切符を無くしたときに駅員に伝えて精算することができる	
	⑪間違えて買った切符で目的駅まで乗ってしまった場合の精算ができる	
バス	②-1〈初めて行くバス停〉目的のバス停まで行くバスに乗り込むことができる	
	②-2〈初めて行くバス停〉初めての目的のバス停で正しい運賃を払って降りることができる	
	③バスを乗り過ごした／乗り間違えたときの対処ができる	
	④整理券の出るバスで整理券を取り忘れた／紛失した場合の対処ができる	

緊急時	①事故や事件その他の緊急事態に遭遇したなどの緊急時に助けを求めることができる	
	②車内や構内、路上等に忘れ物・落とし物をしたときに対処できる	
	③(駅や車内で)電車(バス)の遅れや運休事態が発生した時に対処できる	Ⅲ
情報収集	初めて行く目的地(駅・バス停・施設)までの行き方を、人に聞いたりネットで検索したりして調べることができる(通信・情報の項で扱う)	Ⅱ
タクシー	タクシーを拾って行き先を告げることができる	
	タクシーを呼ぶことができる	
自転車	防犯登録をする	
	駐輪場に申し込んで駐輪する	Ⅱ
	盗難を届ける	
自家用車	免許が取得できる	Ⅲ
	切り替え手続きができる	
	保険加入を含め、購入時のやりとりができる	
	給油ができる	
	駐車場が利用できる	
	定期点検を頼むことができる	
	高速道路が利用できる	
	故障時の対処(JAF)ができる	
	事故時の対処ができる	
国内長距離	①親戚など中国語の通じる知人を訪ねることができる(特急券を購入)	Ⅲ
	②ｵﾌﾟｼｮﾝ：パック旅行窓口で相談して申し込める	
飛行機	空港でのトラブル（荷物紛失、出てこない、破損など）に対処できる	Ⅲ
国外	母国に一時里帰りができる	Ⅲ
	外国旅行ができる	

消費生活:消費生活についての知識を身に付け、日常必要な物が買え、サービスが利用できる

ﾗﾍﾞﾙ	達成目標	
商店知識	①商店の形態の違いや価格の仕組みの概略、いろいろな店や支払い方法があることを知る	
商店：売り場	②-1　買いたい物のありかや有無を探したり尋ねたりすることができる	
	②-2(量り売りの店)数量や単位を指定することができる	
	②-3 値段のわからない品の値段を尋ねることができる	
	②-4 似たような品があって選べない場合、店員に尋ねることができる	Ⅲ
	②-5 店にある品が希望の物と少し違う時にそれを伝えることができる	
	②-6 レジでの定番のやりとりができる	Ⅲ
	②-7 (大型商品の場合)配達や設置工事を頼むことができる	Ⅲ
ﾄﾗﾌﾞﾙ	②-8　釣り銭の間違いに対処できる	
商店:返品交換	③ 買う前に断り・取りやめ・交換ができる	
	④　後日、品物の返品交換ができる(不良品／自己都合の場合)	
商店：その他	⑤<衣料特有>試着をし、寸法直しを頼むことができる	
	⑥<書店等>店頭にない物を注文する	Ⅱ
	⑦ｵﾌﾟｼｮﾝ：通信販売の形態を知り、利用できる	Ⅲ
サービス	身近なサービスの利用の仕方を知って利用できる ① <写真・クリーニング等>のように預かって処理してもらう店が利用できる	Ⅲ
	②ｵﾌﾟｼｮﾝ：<機械ｾﾙﾌの写真・コピー・ドライクリーニング等>セルフサービスの店が利用できる	
	③<外食ａ：ファミレス等>後払いの店が利用できる	
	④<外食ｂ：FF>FF が利用できる	
	⑤<外食ｃ>出前が利用できる	Ⅲ

	⑥<外食ｄ：共通>頼んだ品が来ない/注文を取りに来ない／頼んだのと違う物が来た等の小トラブル時にその旨を告げることができる	Ⅱ
	⑦<宅配・小包>が利用できる	
	⑧<故障・修理>自宅の機器の修理を頼むことができる	Ⅲ
	⑨<理髪店・美容院>が利用できる	
	⑩ｵﾌﾟｼｮﾝ：<娯楽・ＤＶＤ等レンタル>会員制のレンタルサービスが利用できる	
	⑫ｵﾌﾟｼｮﾝ：<施設・基本的に入場料のやりとりのみで可：映画館／遊園地／動物園／美術館等>を利用することができる	
	⑬ｵﾌﾟｼｮﾝ：<施設：ネット・マンガ喫茶／カラオケ／ビリヤード／ボーリング／プール／スケートリンク／銭湯・日帰り温泉・スーパー銭湯 等>が利用できる	Ⅱ
	⑭ｵﾌﾟｼｮﾝ：ネット上のサービスを利用できる	Ⅲ
契約トラブル	①ｵﾌﾟｼｮﾝ：訪問販売、キャッチ・デート商法の被害を回避することができる	Ⅲ
	②ｵﾌﾟｼｮﾝ：クーリングオフを申し込むことができる	
	③ｵﾌﾟｼｮﾝ：埒が開かない時消費者ｾﾝﾀｰ等公共機関に助けを求めることができる	
金融機関	①引き出しや入金・払い込み等ができる	
	②ｵﾌﾟｼｮﾝ：金融機関の種類や利用法を知り、銀行に口座を開くことができる	Ⅲ
	③ｵﾌﾟｼｮﾝ：定期預金の申込ができる	Ⅲ
	④ｵﾌﾟｼｮﾝ：各種生命保険、ローン(学資・車・家)、個人年金が利用できる	Ⅳ

健康:日本の医療事情についての知識を身に付け、医療機関が利用できる

	達成目標	
健康衛生	健康・衛生を保つための知識を身に付け、実践できる	
薬局	薬局で症状に合った市販薬を買うことができる	
健診	定期健診について知り、受診することができる	Ⅲ
病院利用	①(重篤でない場合)定期的な通院なら、１、２度(Ⅲ)／数回(Ⅰ)自立指導員等の付き添いがあれば、次からは自力で行ける	
	②-1 症状に合った病院を探すことができる	Ⅲ
	②-2 医療券をもらうことができる	
	②-3 受診の予約をする	Ⅲ
	②-4(付き添いを頼むことができる)	
	②-5 初診時の受付でのやりとりがこなせる	Ⅱ
	②-6 診察室でのやりとりがこなせる	Ⅲ
	②-7 会計でのやりとりがこなせる	
	②-8 調剤薬局で薬をもらうことができる	
	③ 歯医者にかかることができる	Ⅲ
	④ opt:メガネ屋でメガネやコンタクトを作ってもらうことができる	Ⅲ
	④ 入院(検査・手術)に対応できる	Ⅳ
救急	① 救急の事態に対処できる：隣人に助けを求める	
	② 救急の事態に対処できる：救急車を呼ぶ	Ⅱ
介護	介護保険制度について知り、利用できる	
出産	妊娠・出産の支援制度について知り、利用できる	

住居・近隣対応:居住環境についての知識を身に付け、近隣の人や支援者と良好な関係を保つことができる

	達成目標	
住居安全	① 住居内の安全と衛生に関する知識を身につける	
	②地震・火災・水害等の災害時の対応と事前の備えについての知識を身につける	
住宅事情	① 日本の住宅事情と住宅の種類や入居方法を知る	
	②ｵﾌﾟｼｮﾝ:不動産屋を通して希望の条件のｱﾊﾟｰﾄを借りられる	Ⅲ
	③ｵﾌﾟｼｮﾝ:住宅購入に必要な段取りや手続きを知る	Ⅳ

近隣交際	①日本の近所付き合いについて知り、①引っ越しの挨拶ができる	
	②近所の人と日常の挨拶ができる	
	③ 配布物･回覧板・掲示板の通知が読み取れない時隣人に尋ねるなどして対応できる	
	④ ルールを守ってゴミ出しができる(わからない時隣人に尋ねることができる)	
	⑤ 苦情を言う・言われる場面に対応できる	
	⑥ 物のやりとりができる	
	⑦地域の活動･行事に参加することができる	
	⑧来訪者に対応できる	
	⑨ 慶弔場面について知り、近隣の葬儀に参列できる	
	⑩ｵﾌﾟｼｮﾝ:自治会に役員として加わることができる	Ⅳ
	⑪隣人を招待する・招待に応じることができる	
	⑫緊急時に近隣に援助を求めることができる	
接客訪問	①訪問の基本的なマナーを知る	
	②接客の基本的なマナーを知る	

仕事：求職の方法や職場の習慣についての知識を身に付け、①簡単な面接試験に対応でき、／②勤務することができる

ﾗﾍﾞﾙ	達成目標	
求職面接	①<求職について知り、簡単な面接試験に対応できる>-1 求職相談をすることができる	
	①-2 求人広告を読み取り、応募する （読み取りだけならⅡも可、口頭で応募はⅢ以上か）	Ⅱ
	①-3(書面or電話段階OKだった場合) 電話で面接の予約をする	Ⅲ
	①-4 面接を受ける	Ⅱ
職場生活	① 就業規則を理解して適切に行動できる	
	② 欠勤、早退、遅刻､休暇の連絡･申請ができる	
	③ 安全に注意して(咄嗟の指示を聞き取って)行動することができる	
	④ 指示を理解して(確認して)適切に行動できる	
	⑤ 日報や報告書を書くことができる	Ⅲ
	⑥(報告連絡相談)のやりとりができる	
	⑦外部からの指示や連絡を上司や同僚に伝えることができる	
	⑧ うまく主張･弁明･交渉ができる(言語依存度高いが、単純労働現場でも必要な事なので)	Ⅲ
言語依存度中の職場	① 職場にかかってきた電話に対応できる　　取り次ぐだけ(含む不在時)	Ⅱ
	①-2 内容を聞き取って伝言する	Ⅳ
	②ｵﾌﾟｼｮﾝ:朝礼等上司の講話を理解して勤務に反映させる	Ⅳ
	③ｵﾌﾟｼｮﾝ: 改善のための提案をすることができる	Ⅳ
言語依存度高の職場	①ｵﾌﾟｼｮﾝ:会議等で意見交換ができる	Ⅳ
	②ｵﾌﾟｼｮﾝ:会議でプレゼンができる	Ⅴ
	③ｵﾌﾟｼｮﾝ:顧客や取引先との対応ができる(ｸﾚｰﾑ以外)	Ⅴ
	④ｵﾌﾟｼｮﾝ:ｸﾚｰﾑ対応ができる	Ⅴ
職場習慣	① 職場の習慣について知っている、またはわからないときには尋ねることができる	
	②社内行事の意義を理解して参加できる	
キャリアアップ	①-1 職訓校受験に対応する　学科	
	①-2 職訓校受験に対応する　面接(就職面接に準じる)	
	②職場で有用な資格試験に対応する	
	③転職する	

子弟教育:日本の教育事情を知り、保護者の役割が果たせる

ﾗﾍﾞﾙ	達成目標	
教育事情	日本の学校制度や教育事情、帰国者二三世の進学事情を知る	
学校	①小中学校･保育･幼稚園の生活について知る	

事情	②学校からの通知文書、電話、メールに対応できる	Ⅱ
	③子どもに関して伝えるべき事柄を文書、電話、メールなど適切な媒体で学校に連絡できる	Ⅲ
	④学校やPTAの活動・行事に関わることができる	Ⅱ
	⑤子どもに毎日 or 行事時の弁当を適切な形で用意してやれる	
学校適応	子どもの学校での適応に関心を持ち、手助けしてやれる①:知識を持つ	
	自力で口頭で	Ⅲ
家庭教育	日本の家庭教育事情を知り、適切な対処ができる	

役所・公共施設:日本の役所の機能と帰国者が利用できる公的援助について知る

ラベル	達成目標	
帰国者援護	① 帰国者受け入れに関する公的援護策について知る	
手続き	② 自分に必要な諸手続きの種類とその方法を知る	
住民サービス	① 一般的な住民サービスについて知り、利用できる ※ 最近は母語対応の可能な自治体もあるが、日本語で利用する場合はⅢ	Ⅲ
	② 災害に関する情報を役所に求めることができる	Ⅲ
	③ 外国人住民向けのサービスについて知り、利用できる(耳にした情報について近所の人等に尋ねたり、電話で申し込んだりすることができる)	Ⅲ

通信・情報:
※「通信・情報」目標は生活場面のほぼ全領域に関わっているため、この小目標のみ他領域と重複があり、重複する目標の領域を右に示した。

1) 日本の通信事情を知り、適切な媒体を用いて通信ができる

	達成目標	タイプ	備考
通信事情	①日本の通信事情の概要を知る		消費
電話	①電話利用に必要な知識を身に付け、電話の利用ができる		仕事、子弟教育
	②自宅への電話を受けることができる		
	③自宅への電話を受けて家人に取り次ぐことができる		
	④ 自宅への電話で受けるべき者が不在のときの対応ができる		
	⑤知人へ電話をかけることができる		
	⑥電話をかけた目的の相手が不在のときの対応ができる	Ⅱ	
	⑦留守番電話が利用できる	Ⅱ	
	⑧掛けた先が自動音声の場合の対応ができる	Ⅱ	病気、消費
	⑨携帯電話を利用して通話できる	Ⅱ	
	op. 携帯電話の留守電機能を利用できる	Ⅲ	
	⑩学校や職場に自分(や子ども)の欠席欠勤遅刻早退の電話連絡ができる	Ⅱ	仕事、子弟教育
	⑪緊急時の電話連絡ができる	Ⅱ	病気
fax	op. fax が利用できる	Ⅱ	
郵便等	①郵便局の通信業務について知り、国内及び中国/ロシアとの手紙や小包のやりとりができる		小包・宅配便は消費
	②手紙や宅配便などの不在後の受け取りができる		
電子メール	①パソコンや携帯電話の電子メール機能について知るとともに、利用に必要な知識を身に付ける	Ⅲ	
	②メールアドレス取得の方法について知り、メールの送受信ができる	Ⅲ	
	③添付機能の概念と利用に必要な知識を身に付け、文書や画像の送受信ができる	Ⅲ	
	④携帯電話のショートメール機能と電子メール機能について知り、適切に利用できる	Ⅲ	

2)「情報社会」で必要となる知識を身につけ、適切な媒体を用いて情報収集できる

情報社会	①情報社会の概要を知る		
	②情報社会における主なメディアについて知り、目的に応じた情報収集手段があることを知る	Ⅱ	
	③新聞・テレビ等、日本のマスメディアの現状を知り、情報収集の方法について知る		
	④インターネット利用の現状を知る	Ⅱ	
	⑤インターネットを利用する上で注意しなければならないことについて知る	Ⅱ	子弟教育・消費
	⑥ポータルサイトを使って検索できる(日本語サイトの場合)	Ⅱ	
	⑦（PC、携帯）キーワード検索ができる	Ⅱ	

3)現代社会の様々な場面で必要となる電子機器の種類とその機能、及びその基本操作について知る

パソコン	①パソコンの基本的操作ができる		
	②日本語入力の仕組みと方法を知り、文章を入力することができる。		
	③フォルダの階層構造を理解し、文書の保存ができる		
	④文章作成ソフトを用いて、簡単な文書を作成できる	Ⅱ	
	op.表計算ソフトを用いて、簡単な表を作成できる	Ⅲ	
	⑤デジタルカメラからPCへ画像を取り込める		
	⑥パソコン内に保存してある画像を文書に挿入できる		
	⑦外部記録装置にデータを保存できる		
ﾀｯﾁﾊﾟﾈﾙ	①タッチパネルの操作ができる		交通
コピー機	①コピー機（家庭用含まず）の操作ができる		消費
デジタルカメラ・ビデオカメラ	①デジタルカメラで撮影し、再生機能で閲覧できる		
	②撮影した画像をプリントアウトできる	Ⅱ	消費
	③パソコンに画像を取り込み、保存、編集、メール添付ができる	Ⅲ	
CDﾗｼﾞｶｾ	①CDラジカセを自力で操作できる		ことば(自学)
その他(ﾏｲｺﾝ制御家電等)	①身のまわりの電子機器(※テレビ・ビデオデッキ・電子レンジ・エアコン等)を操作できる		消費

中目標2「知識」　将来の生活に有用な基礎知識・基礎技能を身に付ける

小目標(一般教養):帰国者に必要な一般常識を身に付ける(Ⅰ)／一般教養を～(ⅡⅢ)

※「知識」中の一般教養は達成目標だけでは抽象的すぎるので、下位項目も掲げた。

達成目標…**地理**：日本の簡単な地理について知る

	項目
地勢	①日本の位置と形、中露(サハリン)との比較、**日本が国境を接している国名と位置** ②日本の地勢の特徴　…**日本の国土の3/4は山地**。中央部には３千ｍ級の山脈が連なっていること。山脈山地が真ん中を走っている、**地震国である**こと　火山も多い
人口と国土	③日本・中国・ロシアor サハリンの面積と人口、人口密度　　日本との比較
気候	①気温　中国東北・ロシア(サハリン)と比べてイメージを持つ ②日本各地と中国東北・ロシア(サハリン)の降水量の比較　※グラフ読取は目標にしない ③日本の四季　…南北や東西による気候の違い
地方区分・行政区分	①日本の行政区分　…所沢市＜埼玉県／東京・埼玉県の地図上の位置、地方＞都道府県＞市町村、１都１道２府43県という自治体数と**主要な県や地方名** ②主な都市(各地方の代表都市＋京阪神/首都圏(横浜・川崎)
産業と経済	① 日本の労働人口の推移　② 産業区分…産業区分別人口の高度経済成長期からの推移 ③ 第３次産業の種類と変化　④ 日本の工業地帯／日本の海外への輸出品目で一番多い品目 ⑤貿易(日本と自国との／日本から見た各国との輸出入：**輸出は米国、輸入は中国**) ⑥農林水産物の産地と国内輸送　主な品目、低い自給率、農薬などの環境への影響 ⑦ 交通網と運輸

環境自然	①身近な環境問題…**ごみの分別**／マイバッグなど　※「行動」と重複 ②環境問題…生態系と汚染／火・水・原子力以外の代替エネルギー／温暖化と CO_2 削減との関係 ③歴史的経緯　…"公害先進国"としての日本の歴史 ④自然保護…国土の保全や水資源の涵養のための森林資源の働きを知る

達成目標…**公民**：日本と中国の政治体制の違いについて知る

政治	①政治とは　…身近な地方自治の決定事項を紹介　利害の対立を解決する営みが「政治」 ② 間接・直接民主制／政治参加の方法、　③象徴天皇…政治には不参加(任命のみ)、　④行政機関、⑤法治主義、裁判(三審)制度と裁判員制度、⑥三権分立
憲法	①憲法の３原則とその中の「基本的人権」と**三大義務(納税・労働・教育)** ②人権について　具体例を通して各「権利」の意味を知る

達成目標…**歴史**：日本の簡単な歴史について知る

残留邦人事情	①敗戦後各地から日本に引揚。中でも中ロ両国に残留邦人がいたこと ②中国・サハリン残留事情、　③互いの事情をよく理解してほしいこと
近代・戦前	近代以降の日本の歴史(日本人が学校で受けている歴史教育の内容を知る) ①日本の開国→　② 明治維新と富国強兵策→　③ 軍国主義への道と自由の弾圧
戦中戦後史	①太平洋戦争と戦争の長期化　→②原爆投下と終戦　→③米 GHQ が進駐し、日本の政治を変革→④朝鮮戦争→GHQ の指令で自衛隊設立(憲法の理念に反するとして現在も矛盾に)→⑤サンフランシスコ平和条約を締結、独立回復。日米安全保障条約→⑥戦後の高度経済成長～バブル～平成不況～2008 金融危機
日中文化交流史	①日本人の知る日中交流の出来事(徐福は例外)を知る…徐福伝説、邪馬台国、漢字(平仮名、片仮名の元)、仏教伝来、儒学～(※漢字語彙には逆に中国に輸出されたものも)等、1972 国交正常化以降：田中角栄、周恩来、モノ

達成目標…**生活**：現代の日本人の生活について知る(Ⅰ:「ごく簡単に知る」)

婚冠	①結婚式事情　…総費用(地域差)／**出席者の範囲／服装(本人、参列者)**／お祝い金や結婚パーティの会費／神(仏)基督教式・人前、　②通過儀礼について簡単に
葬式と宗教事情	① 葬儀の特色とマナー　② 祖先を敬う方法　③ 宗教事情と注意点(「カルト教団」)
年中行事	将来日本社会に関わっていくために、母国の行事とも照らし合わせて日本の行事と一年の生活を知る→様々な商戦のネタになっていること、各祝日の謂われ／地方独特の行事 ／祝い方　※ 保育園・学校行事関連のものを重点的に
住宅事情	①日本家屋の特徴、　②住宅事情、　③ 間取り、　④ 家の借り方
家計	①日本の家庭の中の家計簿の位置づけ、　②日本人の家計 (節約例を参考に)
在日外国人／国際協力	①定住外国人人口の推移、　②歴史的背景と現況　③日本の先住民族について ④新しい動き：各エスニックグループの二・三世の活躍　⑤在日外国人報道の傾向
犯罪事情	①一般的な犯罪被害、　②帰国者特有の犯罪…特に２・３世が立場的に狙われやすい ③犯罪被害の相談先／自立指導員、最寄の警察署、外国人相談窓口、近所／詐欺への対応
op　スポーツ事情	①**スポーツ TV**、　②人気のあるスポーツについて知る

小目標(異文化・社会)：異文化社会での適応に伴う問題、及び日本での人間関係において生ずる問題を知り、自分の問題として対処法を考えてみる

ラベル	達成目標
帰国者関連	①中国・サハリン残留邦人事情について知る　※「歴史」(残留邦人事情)参照
	②中国(サハリン)帰国者事情について知る(帰国者の日本社会定着にまつわる社会的問題、国籍と権利(国籍取得の選択)、援護策(新支援策、生活保護、指導員・引受人の役割や関係作り・マナー)、　世代年代別の課題
異文化理解	①　一般的な異文化適応過程について知る
	②異文化事例等を通じて、文化の異同を把握し、その背景について考えてみる
サポート利用	③サポートの入手法や精神の安定を保つための楽しみを見いだす方法について知る
人生設計	④今後の人生設計について考えてみる…今からでも可能な技術の習得方法・学歴取得の途

小目標(日本語自学):日本語の自学自習能力の基礎を身に付ける				
ラ	達成目標		リスト	
学習意識	①生活の中で日本語を学べることを意識する		日常の教師とのやりとり（日直、指示受け等）、学校外の生活場面（含：職場）	Ⅰ
	②自分の学習観や学習方法について考えてみる		学習スタイル、ビリーフ	Ⅲ
学習技能	①日本語学習の記憶の助けになるいろいろな方法を身に付け、辞書やテキストの見方を知る	単語カード作り、教材(ファイル、テキスト)の索引・目次等利用法、振りがな振り、メモをとって語彙を増やす、CD機器操作、日中辞典(名詞)		Ⅰ
	②日本語学習に必要な基本的技能を身に付ける	上記に加えて辞書(日漢、漢字)引き(活用形含む)、電子辞書		Ⅱ
学習評価	①教師が設定した学習課題を実施し、評価してみる			Ⅰ
	②自分で学習課題を設定し、実施し、評価してみる		自己課題の選択、学習ペースの決定	Ⅱ
	③自分で学習計画を立て、実施し、評価する能力を高める			Ⅲ

中目標3「コミュニケーション」 身近な生活や将来の生活(就労・職訓校入学等を含む)の基礎となるコミュニケーション力を身につける

①日本語の基礎的な知識・技能を身につける(ⅠⅡ)／～を補足整理する(Ⅲ)		
ﾗﾍﾞﾙ	達成目標	リスト(タイプはそのタイプ以上を表す)
文字・表記	日本の文字の概要や表記のしくみについて知るとともに、平仮名、片仮名及び日常よく使われる漢字が読み書きできる※ ※露：意味がわかる＞読める＞書ける	◇文字種と使い分け、50 音図の仕組、ローマ字表記の仕組(Ⅱ)、日中の漢字字体の異同、漢字の音訓、表記(含む句読点・記号)等 ◇『身のまわりの漢字』(op:『漢字を覚えよう』)
音声（発音）	日本語の音声上の特徴を知り、聞き分けたり、わかりやすく発音したりすることができる	◇音韻体系／特徴(日中・日露の対比で誤解を生みやすい音を中心に) ◇アクセントの型　◇イントネーションの基本的パターン　意味するニュアンス
語彙・表現	基本的な語彙や表現の意味を知り、使える	◇『身のまわりの漢字』『(タイプ別)基本単語表』と『基本文型・表現表』
文法文型	日本語の文法の仕組みと文型表現の機能について基本的な知識を身につけ(ⅠⅡ)補足整理し(Ⅲ)、基本的な文型表現が使える	◇『ことばと表現』Ⅰ分冊(Ⅰ)、ⅡⅢ分冊(Ⅱ)、Ⅳ分冊(Ⅲ)

②基礎的なコミュニケーション力・読解力・作文力を身につける

①日本語の基礎的な知識・技能を身につける(ⅠⅡ)／～を補足整理する(Ⅲ)		
やりとり（話す　聞く）	①身近な生活場面で生じる状況(言語行動場面)に対応できる(ⅠⅡ)／適切かつスムーズに対応できる(Ⅲ)	
	②時や場所、相手を考えて、歓談・雑談・意見交換ができる (含む話題の準備・展開・継続(Ⅱ)、反応の適切な読み取り(Ⅲ)、(社会言語学的に)適切な表現(Ⅲ)、相手の発話が理解できないとき、自分の発話が伝わらないときの適切な対処)	
話す／スピーチ	自分についての基本的な情報を適切に伝えられ、まとまった内容のスピーチができる	Ⅲ
聞く／聴解	一般的な会話やアナウンス、ニュースの中から、自分にとって重要な情報を選び出し、大意がつかめる	Ⅲ
読む／読解	初級文型(Ⅲ)／初級前半(Ⅱ)レベルの文章が精読でき、読解ストラテジーを使って、事実関係が明確で、かつ、身近なテーマの文章(図表を含む)から、必要な情報や大意がとれる(図表・写真・数字等の助けを借りて)	
書く／作文／記述	初級文型(Ⅲ)／初級前半(Ⅱ)レベルの文章や手紙が書ける	